

平成28年度大学教育再生加速プログラム(AP)勉強会

1. 日 時：平成28年 5月 19日 (木) 12時30分～16時30分
平成28年 5月 20日 (金) 9時00分～12時00分
2. 場 所：岡山大学 津島キャンパス 大学会館1F 第三会議室
3. 出席者：(学外者) 筑波大学客員教授
(学内者) 田原センター長, 高塚教育学研究科長, 田中教授, 佐竹特任教授,
マハムド准教授, 森岡准教授, UAA 石井一郎
4. 内 容 IB 教員育成コース設立と附属校 IB 教育コース設立について検討
5. 主な説明・質疑

1) IB 教員育成コースについて

- ・ Carol Inugai Dixon 氏は、横浜インターナショナル・スクールで長年（1990年から）国際バカロレア（IB）教育に携わってきた。昨年度、筑波大学が IB 教員育成コースを設立することとなり、非常勤教員として採用された。採用に当たっては、筑波大学が、坪谷ニューエル郁子氏に、IB の表も裏もよく知っている人の推薦を頼んだ結果選ばれた。この IB 教員育成コースは4名の教員(イギリス人、カナダ人、日本人2名)から構成される。
- ・ コースの設立には、国際バカロレア機構（IBO）の認証が必要であり、認証の費用、認証の審査に要する費用（審査員旅費など）を支払う必要がある。
- ・ 筑波大学の IB 教員育成コースは、来年4月開設に向けて取り組んでいる。MA in International Education の下に位置するもので、定員は10名。DP, MYP, PYP を対象にしており、オンラインのオプションも計画している。
- ・ 課程は、新たに IB 教員養成用に準備する11科目と修士論文からなる。科目履修は1年間、論文作成は1年間で行い、修了者には IB educator certificate (IBEC) が授与される。
- ・ 単に、IB 校で科目を教えるためだけであれば、IBO が主催する教員用の科目別ワークショップ（カテゴリー1から3）を履修すればよいが、筑波大学の IBEC のコースでは、IB の理念、IB 教育の考え方などを広く学び、将来、コーディネーターなど、IB 校での運営・管理にも携わることができる人材の育成を目指している。
- ・ 昨年、開講の説明会を東京キャンパスで行った際は、多くの参加者が集まったが、コースは、つくばキャンパスで開講されることが伝わると、実際の入学希望者は少なくなった。現在、入学生の確保に努力している。
- ・ IB 教育の実践校は、大学附属の坂戸高校となる。
- ・ IB 教育は、世界のトップクラスの大学への進学などから、一般的には、特別に優秀な生徒を育てるプログラムと捉えられている（IBO はそのような面を表に出して宣伝している）が、通常の高校と変わらない生徒も多数いる。
- ・ IB 教育の理念は、日本が長年培ってきた教育によくなじむ点が多くある。IB 教育の長所を取り入れて日本の教育を改革することは難しくはないと考える。

- ・筑波大学は教授言語を英語と定めたが、日本語と英語の2言語でもIBOは了承してくれる。
- ・IBOへの申請よりも、筑波大学の requirement courses を書くことのほうが大変だった。

2) 今後の取り組みについて

- ・筑波大学と岡山大学が共同で開催するシンポジウム提案があった。

Okayama-Tsukuba Joint Symposium Proposal

Theme: Demystifying IB –IB 導入は恐怖でない

Tentative date: Monday, July 11

Speakers: Carol Inugai-Dixon (Tsukuba) - IB

Hiroshi Sato (Tsukuba) - theory

Tsuyoshi Kida (Tsukuba) – practice of MUN (模擬国連)

Yoshio Maeda (Okayama) –practice of community-based learning

Caleb Prichard/Tom Fast/John Rucynski (Okayama) –CLIL

Shigeru Sasajima (Toyo Eiwa University) – CLIL

Takashi Kusumi (Kyoto University) – Critical Thinking

Aim: To illustrate connections, similarities, commonalities, of principles and practices between the IB and current Japanese education

Proposal:

A joint symposium between Okayama University and the University of Tsukuba to explore the IB in the broad context of changing university admissions criteria in Japan. It is hoped, through collaborating and connecting a range of perspectives and expertise related to this context to generate synergy that may open up pathways for advancing opportunities for future initiatives.